

令和4年度 第1回学校評議員会 記録

期日：令和4年6月7日（火）

時間：9:30～11:30

1 開会 9:30～9:40

(1) 学校評議員委嘱（校長）

(2) 校長挨拶

評議員の皆様には日頃より本校の教育活動にご理解、ご協力をいただき感謝申し上げます。さて、令和4年度が始まり早2ヶ月が経過した。今年度は小・中・高の児童生徒72名でスタートした。5月29日の日曜日には小・中学部の運動会が行われた。また今週月曜日からは高等部が校内、校外の現場実習が始まった。生徒たちの生活経験に即した活動を通しそれぞれが成長する場面がたくさんある。4月開始当初の緊張感がほぐれて本格的に学習活動が行われてきているところである。この1年を通して子ども達がどんな成長を見せてくれるか楽しみにしている。本日は令和4年度の第1回評議員会になっており、6名の委員の皆様に出席していただいている。様々な視点からご意見をいただきたい。

(3) 諸連絡・日程説明

2 授業参観（各学部主事） 9:40～10:10

※参観授業別紙参照

3 報告 10:15～10:55

(1) 令和4年度学校経営について（校長）

学校経営については、現状を把握するために、児童・生徒、保護者、地域、関係機関の4つの分野から見ることを基本としている。

4つの分野のニーズや関係を踏まえ学校としてどのように対応していくか大切にしていきたいと考えている。また、時代とともに変化し学校に与える影響についても見据えながら具体的な対応を行っていかねばならないと考えている。

校訓、学校教育目標、目指す児童生徒像は継続する形で表記している。

「4」は教育理念として掲げている。その中の（3）については、昨年度までは「地域のニーズに応じて関係機関と協働しトータルウィンを目指す学校」としていたが、「特別支援教育を推進する学校」と変更した。利益価値の分野で使われるトータルウィンという考えが、学校経営の具体的なイメージとしてつながらない部分があるため変更した。「現在進行形で地域の特別支援教育を推進していく」ということで「特別

支援教育を推進する学校」とした。

「5」の目指す学校像（1）今年度の重点目標ウについては今年度全面的に変更している。昨年度までは「主体的・対話的な深い学びの実現」等々表していたが、本校の教育の実践の具体が表現できないということから、令和3年度まで研究実践で取り組んできた「いわての授業づくり」を柱に据えて実践してきた基本を踏まえ、「いわての授業づくりの3つの視点」を入れた。ちなみに3つの視点とは「①学習の見通し」「②学習課題を解決するための学習活動」「③学習の振り返り」の3つを基本として授業を構成していく。3つを基本として授業を作っていくということは岩手県教育委員会でも示されている。

カの働き方改革に関する表現については、「効率的な業務を実施していく」というトップダウン的な表現で昨年度は載せていたが、この1年、先生方とともに推進してきた取組を通して、意識も少しずつ変わってきていることから、そこに何かを上乗せするとすれば個人個人が自分自身の業務マネジメントの意識、誰がやるか・どこまでやるか・どのようにすすめるか、またどこつながりながら進めていくかを意識して高めていく重要性もあると感じたので、「一人一人の業務マネジメント意識を高める」としたところである。以下（2）として重点目標達成に向けて取り組んでいくために具体的な方針として6つの項目を挙げて具体的な方向性を挙げている。安全安心の保証、いじめ防止対策の推進、学びの保証、進路の保証、地域に開かれた学校づくり、業務改善の推進となっている。

また、本日の資料には掲載していないが、学校評価に基づく達成指標を策定しパーセント標記の数値を職員に示して学校経営の満足度を高めていくための目標値を共有して取り組んでいる。具体的な達成状況については後期に行われる第2回の評議員会の方で報告する。

(2) 令和4年度 小学部・中学部・高等部経営方針について（各学部主事）

(3) 令和3年度進路状況について（高等部担当副校長）

Q（D評議員）

一般就労、就労継続支援B型、入所の判断が、本人の意向、保護者の意向、受け入れ企業の見立てが一致しないことが多く難しい部分とは思いますがそのあたりはどう対応しているか。

A（高等部主事）

現場実習を繰り返して、すり合わせを行っている。説明にあった年2回の現場実習以外にも、長期休業中の現場実習や平常日の現場実習など、なるべく多くの機会を設けて、本人・家族がお互い納得を得て次の進路へという形をとっている。

Q (D評議員)

私どもの事業所でも同じようなことが課題になっている。先ほど校長先生から話がありました「振り返り」の部分が大事ななと思っているので、同じ歩幅でいこうと思っている。大変参考になった。

Q (D評議員)

コロナ禍にあって行事等が中止になったりしたと思うが、それによって生徒が不本意な学校生活を送るなどの影響はあったか。

A (小学部主事)

小学部の児童は表情が見えないと読み取りができないため、フェイスシールドをつける工夫をして対応した。マスク着用が苦手な児童もいるので職員が手洗いや消毒などの対策を行った。体育の授業では、一時は投げたボールを受け取るたびに消毒するなど、不自由さを児童に感じさせたことはあったと思う。

A (中学部主事)

中学部は、コロナで校外活動に制限がかかった代替として、それらに替わる行事などを企画して生徒には我慢してもらっていた。今年度に入って見通しが明るくなってきたので宿泊なども企画している。生徒は我慢しながらの生活ではあるが大人になって対処してくれている。

A (高等部主事)

高等部は、修学旅行が一番で、関西に行く予定だったのが北東北を巡るコースに変更になった。生徒はニュース等でも状況は理解してくれていたもので、納得した上での変更になった。今は徐々に通常に戻ってきて、そしてトライスポーツの県大会が3年ぶりに開催されるため、それを楽しみにしている。これまで縮小対応してきたが、活動が広がっていく方が生徒のやりがいにも繋がるため、様々な活動が前のおりできればよいと思っている。

A (D評議員)

弊施設でも、行事は全く中止にするというのではなく代替行事としているが、恵風さんでもいろいろと工夫していると感心したので、後でアイデアなどいただけるとありがたい。

4 提言（各評議員） 11：05～11：30

【A評議員】

初めて授業風景を拝見させていただいたが、先生方が iPad やプロジェクタを使って、どのようにしたら伝わりやすいのかを工夫して授業が行われており、大変感心した。児童生徒の施設にいるときと違った表情を見ることができた。今日は大変勉強になった。

【B評議員】

恵風支援学校との交流の中で小学生、中学生が身につけた力が社会に出て活かされた経験を持っている。そのため、この地区内でしか経験できないような大事な交流を今後も続けていくことができればと思う。特別支援教育はとても大切なものだと考えている。交流を通して児童生徒の成長もそうだが、先生方の勉強にもなるものと考えている。

【C評議員】

今日は授業を参観させていただき、学びもそうだが、先生方が生徒のできることや得意なことを見つけて指導されているところに感心した。参考になったのが父の日に向けた制作活動が施設の日中活動にも参考になると感じた。

【D評議員】

普段思っていることとして、支援しているつもりが、こちらが逆に支援されてると思うことがある。教えるときには自分も勉強しなければならないということで、支援されていると思うことがある。生徒たちと自分も一緒に進んでいきたいと思っている。

【E評議員】

通学路には危険な場所があり、雨が数日続くと石が崩れて来るときもある。自然災害があったときにはまず学校に電話した方がよいのか、優先順位が難しい。登校時に遭遇する災害の対処等について学校からの説明がほしい。

【F評議員】

毎回、勉強させていただいている。もっと自分自身、耳を傾けていかなければならないと思っていた。こういう機会があれば参加し、いろいろなことを吸収できればよいと思う。

校長より

本日はいろいろな視点からの提言をいただいた。授業を見ていただき、支援学校というところがどういうことをしているかという理解が深まったことと思う。我々も普段当たり前のようになっていることでも気づいていないことや考えが深まっていないところもあり、提言をいただいて考え直すきっかけにもなる貴重な機会だと思うので、本日のご意見等を参考に学校運営に生かしていきたい。

5 閉会